

令和5年11月 定例記者会見（報告）

1 日 時 令和5年11月27日（月）13時00分～14時00分

2 会 場 庁議室

3 出席者

<報道機関>山形新聞、読売新聞、河北新報、毎日新聞、朝日新聞、産経新聞、NHK、SAY、YTS、YBC

<市>市長、秘書広報課長

4 記者クラブからの質問事項

- (1) 市長選の投開票が昨日26日に行われ、新たな市長が決定しました。選挙結果への受け止めと、新市長に期待することを教えてください。
- (2) 固定資産税の課税誤りについて、長期間をさかのぼった調査が続いています。担当職員にとっても相当に重い負担となっており、さらに3年続く計画です。発覚時の市長としての責任をどう考えますか。15年というさかのぼる期限について見直しのお考えはありませんか。調査にあたる職員の数と要した時間のデータも分かればお教えてください。
- (3) その他

5 内 容

○秘書広報課長

これより令和5年度11月の定例記者会見を開催いたします。記者クラブからいただいた事前の質問に回答させていただき、質疑に入らせていただきます。よろしくお願いいたします。

○市長

11月の定例記者会見の内容につきましては2点ありました。

まず第1点目、何よりも当選されました近藤洋介さんにお祝いを申し上げたいと思います。そして選挙の結果であります。市民、有権者の皆様が選良として選ばれたわけでありますので、落選されました2名の方には非常に残念な思いをされたのではないかと思います。そして新市長に期待することを教えてくださいということですが、期待することということよりも選挙というのは自分の政策を公約として市民の皆様それぞれを訴えながら一票一票をお願いすることが選挙であると思っておりますので、当選された近藤さんにはしっかりと市民に提示した政策を実施していただきたいと思っております。

そして、2点目の固定資産税の課税誤りについて、詳細については私もどこまでお

答えできるかわかりませんので、担当職員が同席しておりますので細部にわたっての質問については担当者からお答えをさせていただきたいと思っております。

まず、課税誤りについては対象者となられた方々に対して、多大な御迷惑をおかけすることとなり、大変申し訳なく思っております。このようなことがないように信頼を確保するために地方税法の規定である5年を超えて過大に納付した分を返還し理解と信頼を得られる税制を目指す必要があると考えておりますので、そこをしっかりとやっていきたいと思っております。

次に、15年というさかのぼる期限についてであります。固定資産税を過大に納付した分をお返しする年数について、納税者から10年しかさかのぼらないのはおかしいのではないかと、などの声があったことから、内部検討を進めた結果、平成20年に、さかのぼる年数を15年に延長して運用してきたところです。したがって、15年という期間について見直す考えはありません。

もう1点であります。調査にあたる職員の数と要した時間のデータについては、課税誤りの調査は通常業務と並行しているため、算出するのが困難であるということですので、そうしたデータはお示しをすることはできないところです。

○記者

1番の項目に関する質問です。まず、選挙結果をみると市民を二分した判断が迫られた選挙結果だったと思っておりますが、今後の議会運営、行政運営を考えた時に、それぞれの議員もそれぞれの立場で支援をされたわけですが、今後その部分で支障が生じるというのが少し懸念されると思われませんが、市長としてはいかがお考えでしょうか。

○市長

当選された方がどのような議会对応をしていくかについて私がどうこう言及するものは何もありません。ただ、4年前に私もそのような経験をしてきているので、しっかりと自分の政策を市民の皆様にお示しをしたものについて実行していくこと、議会の対応についてもしっかりと取り組んでいくことが重要なことだと思っております。後ほど新しい市長がどのような議会運営をされるか皆さん方で注視をしていただきたいと思います。

○記者

市長ご自身の後継として支援された伊藤氏が惜しくも敗れてしまいましたが、そのことについてはどう感じていますか。

○市長

ただただ残念だと思っております。

○記者

近藤氏の政策を拝見すると、給食センターの落札者が先日決まったわけですが、このまま引き続きいくのかまだはっきりしていない印象ですが、その部分についてこれまで道筋を作ってこられた市長の考えはいかがでしょうか。

○市長

教育委員会も含め、行政が事業を実施するという事は、今日まで業者選定も済ん

でいることから、よほどのことが無い限り覆すことはあってはならないのではないかと考えております。これからの学校給食のあり方については、議会でもいろいろ議論してきたことでありますので、そこは行政の継続性について御承知をしていただきたいものと思っています。

○記者

近藤さんの経歴は市議会とか市政畑ではなかったと思いますが、8年務められた中川市長からこういう姿勢を望む、どういうビジョンでやっていって欲しいなどアドバイスがあればお聞きしたいと思います。

○市長

取り立ててお話しすることはございません。

○記者

先月質問した栗子山の風力発電についてですが、私どもの取材ではJR東日本エネルギー開発がすでに準備工事が現地でスタートしているようです。山形県に地域住民から苦情が寄せられていることも取材で確認をしているところですが、そのあたり米沢市ではどのように受け止めているか教えていただけますか。

○市長

詳細について事業者から担当者に連絡があったのか承知しておりません。先月の記者会見でもお話したように丁寧な説明を住民のみなさんにして欲しいと申し上げたわけなので、そういったことがもし無かったとしたら残念だとは言いようがありません。

○記者

米沢市への苦情について市長は聞いていますか。

○市長

まだ私は聞いていません。

○記者

今日が最後の定例記者会見という前提で伺いますが、まず残り1か月の任期となりますがどのような心境でどんなことを仕上げとして走り抜けたいか、気持ちをお聞かせください。

○市長

あと1か月を切ったわけでありまして。これから私としてまだやらなくてはいけない部分がありますので、そういった残っているものについて全力を挙げて取り組んでまいりたいと思います。また、12月定例会が明日から予定されていますので、最後の議会でどのような質問がでるのかということもありますが、しっかりとお答えをしながら最後の議会に臨んでいきたいと思っています。

○記者

やらなくてはいけないこととは、例えば一に例にあげるとしたらどんなことでしょうか。

○市長

まだ正式に申し上げられる状況にございませんので、大体の方向性が決まったら後で何らかの形で発表があると思います。

○記者

市長在任中に、市長ご自身で発表できる案件だということですか。

○市長

確定した段階で6年度の事業になっていくと思います。今後、関係者の方々に確認をするということもあるので今の段階では申し上げない方が良いと思います。

○記者

中川市長が8年前に就任されて、ご自身で2期8年と決められたわけですが、その理由と今振り返っていかがですか。

○市長

就任前に市民の皆様にご提示していた件で、なかなか進まなかった部分が3つありました。

1つは病院問題、1つは小中学校の統廃合、もう1つは財政健全化ということで非常に市民の皆様が興味を持った分野でありますので、私は何としても解決しなければならないという思いで市長選挙に立候補させていただいて、当選させていただきました。ただ、今申し上げた3つの点について1期4年では完成することは難しいだろうと今までの政治経験からそう判断をさせていただきました。2期8年あれば何とか対応できるのでは、8年でできなかつたら市長としての能力が無いと判断されてもいたしかたがないということで、2期8年という退路を断ったという意味で条例を設定させていただいて取り組んできたということです。

○記者

病院も完成しました。市長の3つの思いを振り返ってみていかがですか。

○市長

病院も全国初の市立病院と民間病院の医療連携病院として11/1にスタートしました。非常に感慨深いものがあります。そして小中学校の統廃合につきましても就任前は中学校4校でしたが、現状を判断しながら中学校3校に修正をして現在進行しており、新たな中学校建設も具体的に進んでおります。校名も決定しております。まだ全てが完成したわけではありませんが、市民の皆様にご公約として適正配置・適正規模で対応していくということを申し上げましたので大変うれしく思っています。

財政健全化ですが、何よりも歳出を減らすということについては非常に厳しいものがあります。歳入の確保については、まず、ふるさと納税を多くの皆様に納税していただくため、その中身について、徹底して担当者と議論した結果、おかげさまでそれが本市への多大な納税額につながった大きな要因になっていると考えています。

もう一つは企業誘致につきましても、高速道路の東北中央道福島米沢間が開通したこともあり、建設がこれからというところではありますが、八幡原工業団地は100%完売となっております。そのことによって固定資産税の歳入確保ができました。そして雇用も生まれてきているので、人口減少はしていますが今現在、市税は落ち込んで

おりません。むしろ上向きになっていると言ってもいいと思います。厳しい財政状況である中で、建設事業も進めることができたのではないかと考えています。

○記者

振り返って市長の3つの思いについて、だいたい終えられたとお考えでしょうか。

○市長

病院も小中学校の統廃合も財政健全化につきましても、一定程度出来上がったものもあります。計画通りこれから進めていくという小中学校の適正規模・適正配置の基本的なものも策定していくことができましたし、財政健全化についても今ところ順調に進んで多少の余裕もあるという状況ですので、大体成し遂げてきたものと判断しております。

○記者

以前、市長がおっしゃっていた米沢を舞台にしたアニメーションの話が、冬頃という話だったので楽しみにしていたがどうなっているのでしょうか。

○市長

直接米沢市が制作会社と関わっているわけではありませんので、お答えできる立場にはないところです。催促もしていますが、供給会社がまだ公表しないで欲しいという内容でありますので、いつ発表していただけるのか楽しみにしているところです。間もなく配給されるのではないかと考えています。

○記者

楽しみにしています

○記者

改めて市長の御退任の会見の場もあればと思いますが。

○市長

予定しておきます。

○秘書広報課長

これを持ちまして令和5年度11月の定例記者会見を終了いたします。